



市長から委嘱を受けた水島壽人さん

6月13日 【市長室】

事業承継コーディネーターを委嘱しました

「事業を引き継ぎたい」「後継者を見つけたい」といった事業者の事業承継を支援する「釜石市事業承継コーディネーター」として水島壽人さん（中小企業診断士・事業承継士）を委嘱しました。水島さんには、事業承継セミナーの開催や個別相談会を担ってまいります。相談を希望される事業者はお気軽に市商工観光課までご連絡ください。（市商工観光課 ☎27-8421）



ラグビー体験をしている生徒たち

6月20日 【釜石高校】

多様な可能性を知り、未来の地図を描く さまざまな気づきが行動の原動力に

多様な可能性を知り、未来の地図を描くための社会人との対話交流プログラム「釜石コンパス」が開催され、釜石高校2年生120人が参加しました。生徒は、さまざまな経歴を持つ社会人との対話や体験を交えた講義に真剣に耳を傾けました。自分のやりたいことは何か、学校生活で困っていることなど、生徒の悩みに講師も熱い思いを持って真摯に向き合っていました。



勝利を目指し懸命にボールをつなぐ選手たち

6月28日-29日 【花巻市総合体育館 他】

優勝まであと一歩 努力と成長が光る準優勝

第45回全日本バレーボール小学生大会岩手県大会で、栗林ラビーバレーボールスポーツ少年団が準優勝に輝きました。優勝して全国大会に出場することを目標に練習を重ね、チーム一丸となって挑んだ今大会。決勝は接戦の末に惜しくも敗れましたが、勝利まであと一歩の好ゲームを展開しました。努力と成長が光る熱戦に、会場からは大きな拍手が送られました。



水揚げされた「釜石はまゆりサクラマス」

6月30日 【釜石魚市場】

「魚のまち釜石」に嬉しいニュース 釜石はまゆりサクラマス今季初水揚げ

釜石の特産品「釜石はまゆりサクラマス」が今季も水揚げされました。水揚げは7月中旬頃まで行われる予定で、今季は昨年より100トン多い240トンの生産を目指しています。初日には60センチほどに育ったサクラマスが、昨年を約10トン上回る23トン水揚げされました。市内スーパーや鮮魚店などで販売されている他、8月に市内飲食店などで「釜石はまゆりサクラマス」を使用したメニューを提供するフェアを開催予定です。

6月6日 【釜石市民ホールTETTO】

釜石産食材で新商品誕生 4社がタッグを組み食品ロス削減へ

浜千鳥の梅酒製造の過程で発生する漬梅を活用した「むね肉の漬梅焼き」の新商品発表会が開催されました。「むね肉の漬梅焼き」を試食した人たちからは、肉のやわらかさと鼻から抜ける梅のさわやかな香りが大好評でした。「むね肉の漬梅焼き」は道の駅釜石仙人峠、かまいし特産店や野村商店で販売中で、今後、ふるさと納税の返礼品としても活用される予定です。



「梅え鶏プロジェクト」新商品発表会の記念撮影

6月7日 【白山小学校】

親子で考えよう インターネットの正しい使い方

インターネットを正しく安全に使うための情報モラル教室が授業参観日に合わせて開かれ、白山小学校の全校児童と保護者ら約60人が参加しました。ソフトバンク㈱の鈴木利昭さんが講師を務め、ネットにひそむ危険性やネットを正しく安全に使うための方法を教わりました。その後、親子で「スマホデビュー検定」に挑戦し、ネットの使い方を振り返り、親子で知識を深めました。



インターネットの利用について学ぶ白山小の児童と保護者

6月7日-8日 【イオンタウン釜石】

地球環境に優しい生活へ 身近なことから環境を考えよう

6月の「環境月間」に合わせて、釜石市自然・生活環境展が開催されました。手回し発電釣りゲームや"エコ"な体験学習コーナーなど、楽しみながら身の回りの環境について知識を深めました。4月から始まったプラスチックの分別収集にちなんだクイズもあり、会場では親子で各種体験を楽しむ姿が多く見られ、地球環境に優しい生活へ意識を高めた2日間となりました。



手回し発電で魚釣りを楽しむ親子

6月8日 【釜石消防庁舎東側駐車場・甲子川河川敷】

防火、防災の意識を高め 地域の安全・安心を守る力を発揮

釜石市消防団消防演習が開催され、団員、消防署員、来賓ら474人が参加しました。甲子川河川敷では放水訓練が行われ、団員らは訓練で身に付けた技能を発揮し、火災発生時の迅速な消火活動へ意識を高めました。菊池団長は、「震災やコロナ禍でしばらく遠ざかっていた操法訓練にも精進し、若手への技能継承、組織の充実強化に団員一丸となって励んでいく」と意気込みました。



気を引き締めて演習に臨む分団員